

苅田町立図書館 新着推し本紹介のコーナー

2月の推し本



『なんでも「はじめて」大全』

スチュワート ロス // 著 東洋経済新報社 請求記号 031.4/ロ/ 資料番号 610133092

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00603947>

【紹介文】日々の暮らしの中で、「これ」がない時代は不便だっただろうなあ、と感じる瞬間があります。自動車・洗濯機・エアコンなどなど。この本は、人間が創り出してきたあらゆるものの「はじまり」について書かれています。

例えば、本文中『涼しい建物』の項目に、古代エジプト人は風を水に通して冷やす採風塔を建てたり（紀元前3000年頃）、と、記述があり、予想以上に古いエアコンの元祖を知りました。

記載内容は「物」だけにとどまらず、通信・公共サービス・戦争や文化まで。広範な「事象」のはじまりは人類の歴史そのもの。クイズのネタとしても使えそうです。

『カカ・ムラド』

ガフワラ // 原作 だまさし // [ほか]訳 双葉社 請求記号 333.8/カ/ 資料番号 610130866

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00603592>

【紹介文】2019年アフガニスタンで凶弾に倒れた中村哲医師へむけた絵本の日本語版。

中村医師は、医師でありながら水を確保するため灌漑事業「緑の大地計画」に取り組み、たった6年で貧しく感染症が蔓延する村に水と緑と食べものと新鮮な空気をもたらせました。

現地では『カカ・ムラド』（なかむらのおじさん）と呼ばれ愛され尊敬されていたことが絵本という少ないページ数のこの本の中でもうかがえます。

ひとりひとりが『知恵』と『ほんとうのやさしさ』の中にある魔法を決して忘れてはいけない。そうすれば世界がきっと変わっていくかも…。

『失われゆく仕事の図鑑』

永井良和 // [ほか]著 グラフィック社 請求記号 384.3/ウ/ 資料番号 610132383

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00603946>

【紹介文】あったあった、こういう仕事！と思うものもあれば、古い映画の中でしか見たことない職業や、全く知らないものも多く載っている。AI化や合理化が進む現代の子どもたちのなりたい職業ランキングには決してランクインしないものばかりだろうが、この本には日本の「職業文化」ともいべき貴重な記録がまつまっているのではないかな。写真やイラストがたくさん載っており、執筆者それぞれの実体験も交えて時にはユーモラスに書かれている。リアル世代には懐かしく、若い世代には何かしら発見がある気がする。

『ヘンな科学“イグノーベル賞”研究40講』

五十嵐 杏南 // 著 綜合法令出版 請求記号 404/I/ 資料番号 610132508

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00603917>

【紹介文】イグノーベル賞は、「人々を笑わせ、考えさせた業績」に対し贈られる賞で、1991年に創立されました。この賞を日本人はなんと14年連続で受賞しています。本書では「黒板を引っ掻く音がイヤな理由」「話が長い人を黙らせる機械」など、イグノーベル賞を受賞した40の研究が紹介されています。人々を笑わせた業績に贈られる賞だけあり、個性溢れるユニークな研究が多く載っています。なかには何のために？と思うような研究もありますが、世の中にはいろいろな科学があって、発想は自由なんだと感じます。個人的に心が惹かれた研究は「猫は液体か？」です！

『九州喫茶案内』

小坂 章子 // 著 書肆侃侃房 請求記号 673.9/コ/ 資料番号 610133944

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00604381>

【紹介文】2020年。世界は一変した。最初はこれが、何のはじまりか分かっていなかった。今までは当たり前にできたことができなくなった。これから自分の、そして自分を取りまく世界はどうなるんだろう、と不安になった。そして人は考える、「自分にとって大事なことは何だろうか?」と。そんな時、昔ながらの喫茶店は、おあつらえの場所となる。こういう時だからこそ、訪ねてみたい喫茶店。この本の中で紹介されているお店の何店かは、私も実際好きで足しげく通っていた。珈琲豆の匂いに惹かれてまた、行ってみようと思う。

『私のテレビ日記』

清水 ミチコ // 著 東京ニュース通信社 請求記号 779.1/シ/ 資料番号 610132029

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00603897>

【紹介文】私は清水ミチコファンである。彼女のものまねが好きだし、ライブの演出も笑える。ものまねをする人って、よ〜く他人のことを観察していると思う。その人のクセなり、人なりを大げさにするのだから、面白いのだろう。2013年から始まり2020年に終了した雑誌の連載がこのエッセイ本となった。日々こんなに面白いことが起こるのだろうか。清水ミチコだから、起こるのか。どのページから読んでも飽きない小ネタ(?)が楽しい。

『世界を変えた知っておくべき100人の発見』 (児童書・かがく)

アビゲイル ウィートリー // ほか文 小学館 請求記号 404/セ/ 資料番号 620050542

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00603889>

【紹介文】スマホやパソコン、コンピューター。それらを動かす電気、電波、プログラミングなどなどあって当たり前のような道具や資源。ですが、それらを発見してくれた人たちのことはあまり知らない。この本には、有名・無名に関わらずアッと驚くような発見をした人たちを100人紹介している。また、情報を視覚的に伝える手法(インフォグラフィックス)で見ているだけでも楽しめる。
"雪の日の散歩がノーベル賞への道となった"など、ひょっとしたら、すごい発見はそこら辺に転がっているのかもしれない。

『日向丘中学校カウンセラー室』 (児童書・ものがたり)

まはら 三桃 // 著 アリス館 請求記号 913/マ/ 資料番号 620049973

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00603603>

【紹介文】中学生、思春期の時ってどうしようもないモヤモヤとしたものが心の中に巣くっていた。今にして思えばなんてこともないことであーだこーだと悩んでひとりどんがっていたようにも思う。そんな黒歴史の時にこんなカウンセラーの先生が学校にいたら、良かったのにとってしまった。

この学校には生徒たちから"さんづけ"で呼ばれる名前が3つあり、(カウンセラーのあやさん、用務員の清二さん、都市伝説のゴウスケさん)その三人と生徒たちの関係が、悩みや謎、それぞれの問題を解決?していく。読んだ後、さわやかな気持ちになれる一冊。



問い合わせ先

苅田町立図書館 ☎093-436-0946

開館時間：9：30～17：30 (木・金は19：00まで。本館のみ)

ホームページから蔵書検索もできます



(2021.2.4発行)